



熊本市立大江小学校

ときめき

2022.9.22(木)

No. 75



文責
松永

「秋の交通安全運動(9/21~30)」～交通指導お世話になります～



“事故にあわない、おこさない!”という呼びかけのもと、21日から「秋の全国交通安全運動」が始まっています。30日までの期間中、校区の交通安全協会の方々をはじめとして、交通指導でお世話になっています。朝の忙しい時間帯でのご協力、本当にありがとうございます。ポスターにも記載されているように、横断歩道はもちろんですが、道を渡る時には、自分の目で見て安全を確認してから渡るようにしてほしいと思います。私も朝から学校近くを歩きながら交通指導をしています。時々ハッとする場面があります。学校前の道路は7時30分～8時30分までの間は、通行するには許可証が必要です。交通指導の方が、コンビニ前の交差点からその道に曲がろうとする車には、注意を促されます。そうすると、許可証を持っていない車はあっと気付いて曲がるのをやめられます。でも先日は、制止を無視して入ってきたケースもありました。子どもの横断に合わせて旗を出そうとした時に、後ろから来た自転車に乗った方から「じゃまです」と言われてびっくりしたこともありました。登下校に利用する子どもも多い横断歩道でもあります。歩行者も運転



者も状況確認をしっかりと安全確保に努めたいですね。

また、本校の近くは自転車の通行も多いところがあります。先日、ヘルメット着用や自転車の交通ルール・マナー遵守などを啓発するのぼりを手に、教育委員会や警察関係の方々が交通指導をされていました。スクランブル交差点

では、警察の方が自転車を停めて直接声をかけておられる様子も目にしました。特に、令和4年10月1日から熊本市内で自転車に乗るときは、ヘルメットの着用が努力義務化されます。

子どもたちの登下校についても、機会をとらえて指導をしています。横断歩道の青信号が点滅しているところを走って渡ったり、横断歩道のないところを斜め横断したりしている子どももいました。地域の方から、下校時が多いそうですが、道いっぱい広がって歩いている子どもがいるという連絡をいただきました。歩道橋を利用することになっている子どもが違う道を通っていたり、



通学路ではない道を通ったりしていることなど、心配の声が寄せられています。近道なのか、駐車場の中を通ってくる子どももいるようです。自分自身の命を守るためにも、一人一人が安全の意識をしっかりとって、正しい判断と行動をすることが大切です。

